



太田 祐介

獣害被害

鹿・猪の捕獲数は。

次表のとおり。

年度	鹿	猪
H.23	152	112
H.30	300	250
R.01	362	72

捕獲頭数の推移

一、獣害被害

二、浄るりシアターのイベント開催

捕獲されたもののジビエへの利用について

う。

ジビエ対策では捕獲されたものを全て処理することができない。現状は埋却等による処理をしている。

近隣自治体との連携について問う。

京都府の丹波の協議会と連携して行っている。猪名川町ともICTの罠について情報交換をしなが

ら対策を練っていく。

施設での新型コロナウイルス感染症対策について

現状と課題を問う。

館内の定期的なアルコール消毒を徹底し、使用者には7箇所

に設置した消毒液でこまめな消毒や室内の換気を励行している。

課題として、イベント時に来館者が集中するロビーやトイレ等での感染リスクを抑えるために、現在、国のガイドラインに基づき収容率を5割に設定しているが、

将来10割に戻す時期を模索している。

施設の利用促進に向けた誘致活動について問う。

学生、演劇関係、音楽関係などへのアピールを続ける。



浄るりシアターのイベント開催

施設での新型コロナウイルス感染症対策について

現状と課題を問う。

館内の定期的なアルコール消毒を徹底し、使用者には7箇所に設置した消毒液でこまめな消毒や室内の換気を励行している。

課題として、イベント時に来館者が集中するロビーやトイレ等での感染リスクを抑えるために、現在、国のガイドラインに基づき収容率を5割に設定しているが、

将来10割に戻す時期を模索している。

施設の利用促進に向けた誘致活動について問う。

学生、演劇関係、音楽関係などへのアピールを続ける。

一般質問



森田 則子

地域で子どもの命を守る

本町の児童虐待の相談件数の推移を問う。

新規相談は、H29年7件、H30年13件、R元年16件で、これまでの相談件数を含めて増加傾向にある。

産後に育児の不安やストレスから、虐待に発

展するケースも増加している。周囲の支援が必要だと考えるが、本年度から始まった産後ケアの内容と、状況について問う。

宿泊型、日帰り型、訪問型は、助産師かヘルパーの訪問のタイプがあり、10月までに7人の利用があった。

助産師や、保健師による訪問、乳幼児健診等での

アドバイスなど切れ目のない支援を行い虐待防止に努めている。

7月に設立された新電力会社について進ちよく状況と将来の計画的な見通しを問う。

10月から公共施設の8施設で電力供給を開始し、再生可能エネルギー比率は、70%である。今後は利益を踏まえ、交通弱者支援の仕組みを一つずつ検討していく。

SDGs・脱炭素社会

温室効果ガスの増大で地球温暖化が進み、自然災害が多発、地球規模で危機に瀕している。

本町の温暖化防止計画や削減目標を問う。

現在、効果ガスの削減目標を定め、地球温暖化の実行計画を策定しているところで、今年度中を目標に進める。

7月に設立された新電力会社について進ちよく状況と将来の計画的な見通しを問う。

10月から公共施設の8施設で電力供給を開始し、再生可能エネルギー比率は、70%である。今後は利益を踏まえ、交通弱者支援の仕組みを一つずつ検討していく。

SDGs・脱炭素社会

温室効果ガスの増大で地球温暖化が進み、自然災害が多発、地球規模で危機に瀕している。

本町の温暖化防止計画や削減目標を問う。

現在、効果ガスの削減目標を定め、地球温暖化の実行計画を策定しているところで、今年度中を目標に進める。

7月に設立された新電力会社について進ちよく状況と将来の計画的な見通しを問う。

10月から公共施設の8施設で電力供給を開始し、再生可能エネルギー比率は、70%である。今後は利益を踏まえ、交通弱者支援の仕組みを一つずつ検討していく。

SDGs・脱炭素社会

一、児童虐待防止対策
二、SDGsの取組み
三、新型コロナウイルス感染症対策

7月に設立された新電力会社について進ちよく状況と将来の計画的な見通しを問う。

10月から公共施設の8施設で電力供給を開始し、再生可能エネルギー比率は、70%である。今後は利益を踏まえ、交通弱者支援の仕組みを一つずつ検討していく。

SDGs・脱炭素社会

温室効果ガスの増大で地球温暖化が進み、自然災害が多発、地球規模で危機に瀕している。

本町の温暖化防止計画や削減目標を問う。

現在、効果ガスの削減目標を定め、地球温暖化の実行計画を策定しているところで、今年度中を目標に進める。

7月に設立された新電力会社について進ちよく状況と将来の計画的な見通しを問う。

10月から公共施設の8施設で電力供給を開始し、再生可能エネルギー比率は、70%である。今後は利益を踏まえ、交通弱者支援の仕組みを一つずつ検討していく。

SDGs・脱炭素社会

温室効果ガスの増大で地球温暖化が進み、自然災害が多発、地球規模で危機に瀕している。

本町の温暖化防止計画や削減目標を問う。

現在、効果ガスの削減目標を定め、地球温暖化の実行計画を策定しているところで、今年度中を目標に進める。

7月に設立された新電力会社について進ちよく状況と将来の計画的な見通しを問う。

10月から公共施設の8施設で電力供給を開始し、再生可能エネルギー比率は、70%である。今後は利益を踏まえ、交通弱者支援の仕組みを一つずつ検討していく。

SDGs・脱炭素社会

温室効果ガスの増大で地球温暖化が進み、自然災害が多発、地球規模で危機に瀕している。

本町の温暖化防止計画や削減目標を問う。

現在、効果ガスの削減目標を定め、地球温暖化の実行計画を策定しているところで、今年度中を目標に進める。

7月に設立された新電力会社について進ちよく状況と将来の計画的な見通しを問う。

10月から公共施設の8施設で電力供給を開始し、再生可能エネルギー比率は、70%である。今後は利益を踏まえ、交通弱者支援の仕組みを一つずつ検討していく。

SDGs・脱炭素社会

温室効果ガスの増大で地球温暖化が進み、自然災害が多発、地球規模で危機に瀕している。

本町の温暖化防止計画や削減目標を問う。

現在、効果ガスの削減目標を定め、地球温暖化の実行計画を策定しているところで、今年度中を目標に進める。

